

6. 住宅用火災警報器の設置義務について

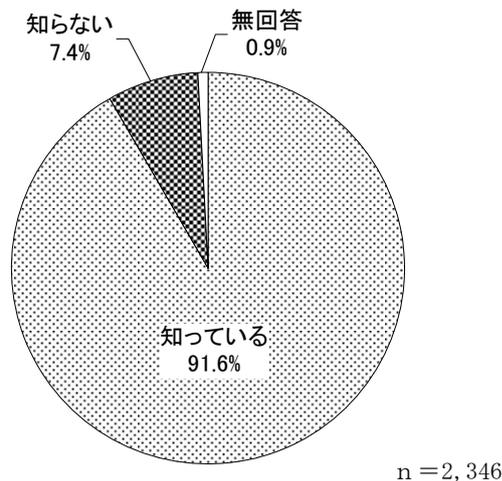
(1) 住宅用火災警報器の設置義務の認知度

◇「知っている」は9割を超える

問 16	すべての住宅等に「住宅用火災警報器」の設置が義務づけられたことを知っていますか。	
	(○は1つ)	n = 2,346
1	知っている	91.6%
2	知らない	7.4
	(無回答)	0.9

すべての住宅等に住宅用火災警報器の設置が義務づけられたことを知っているか聞いたところ、「知っている」(91.6%)は9割を超えて非常に高くなっている。(図IV-6-1)

<図IV-6-1>全体

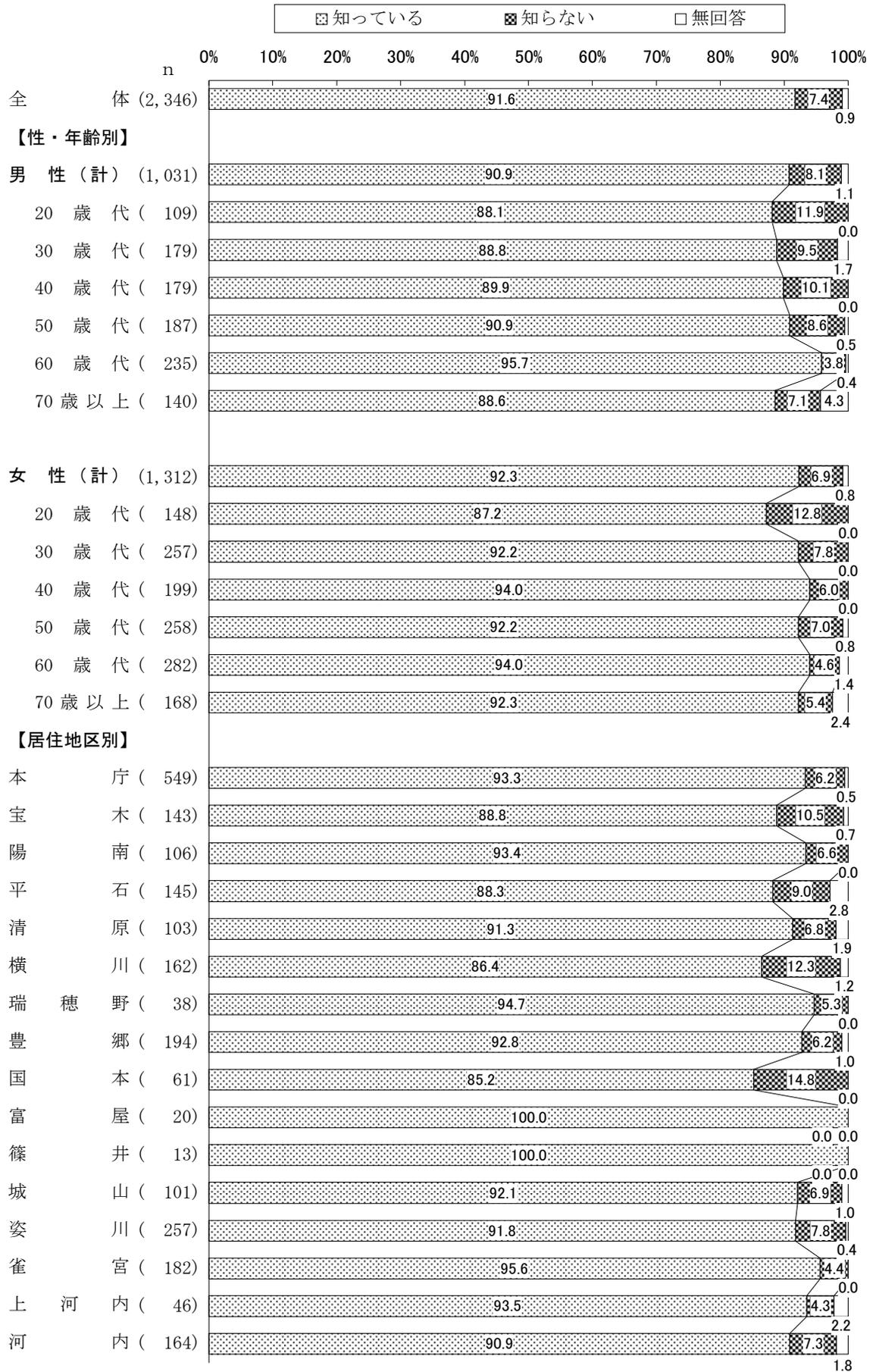


性・年齢別で見ると、「知っている」は<男性/60歳代>(95.7%), <女性/40歳代, 60歳代>(94.0%)で9割台半ばとなっている。(図IV-6-2)

居住地区別で見ると、「知っている」は各地区で9割を超えているが、<宝木>(88.8%), <平石>(88.3%), <横川>(86.4%)<国本>(85.2%)では8割台後半となっている。

(図IV-6-2)

<図IV-6-2>性・年齢別／居住地区別



(2) 住宅用火災警報器の設置状況

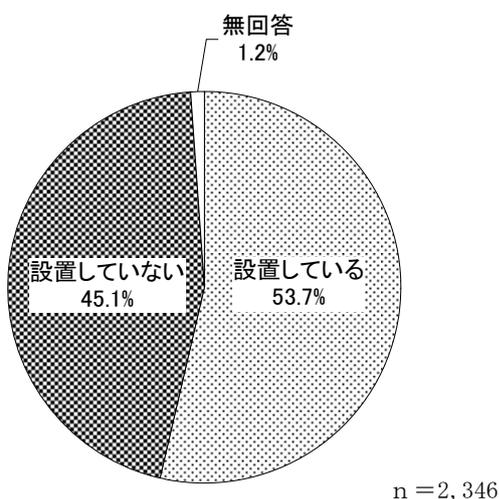
◇「設置している」は5割を超える

問17 現在、自宅に「住宅用火災警報器」を設置していますか。(○は1つ)

	n = 2,346
1 設置している	53.7%
2 設置していない	45.1
(無回答)	1.2

現在、自宅に住宅用火災警報器を設置しているか聞いたところ、「設置している」(53.7%)は5割を超えている。(図IV-6-3)

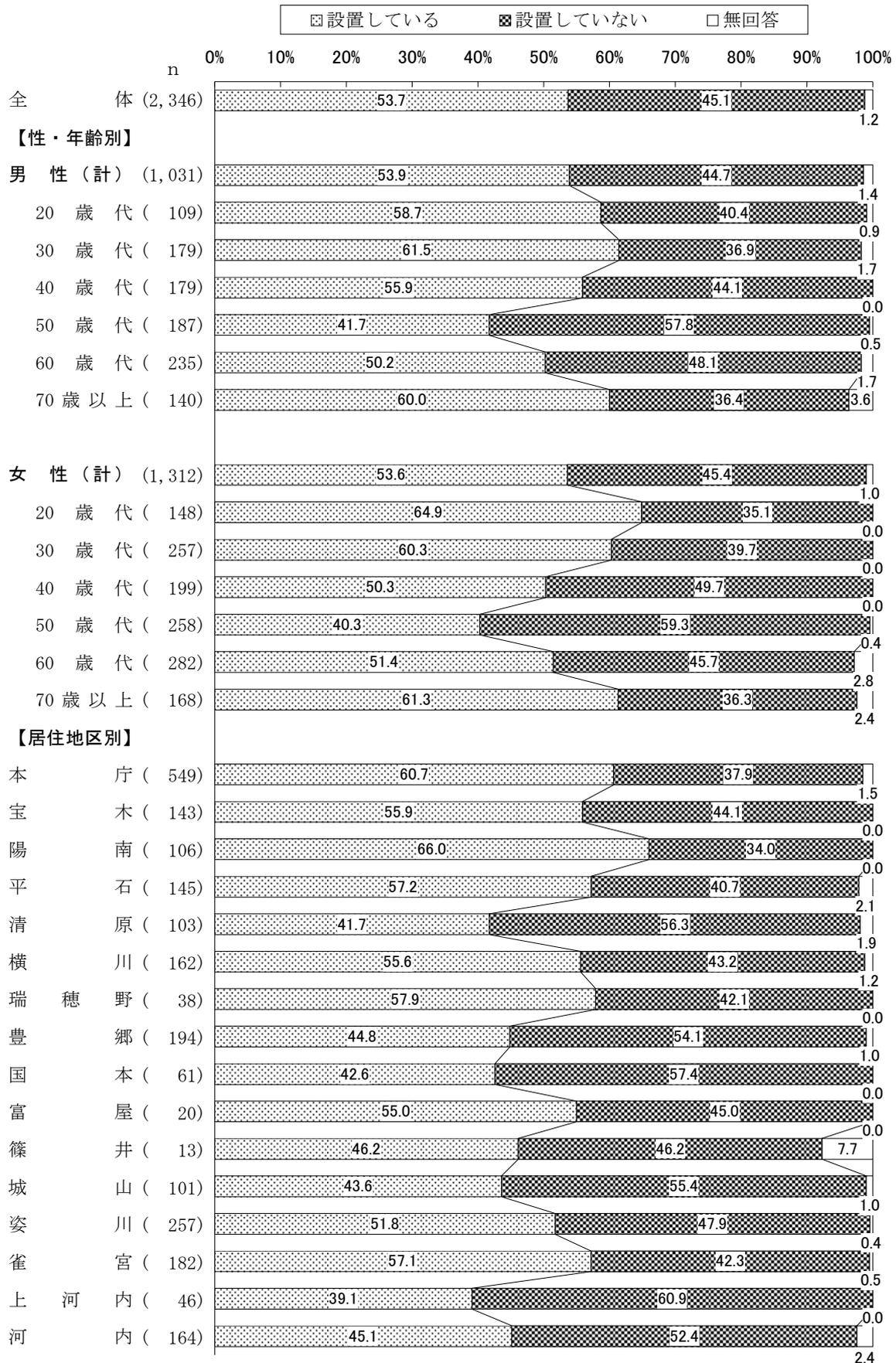
<図IV-6-3>全体



性・年齢別で見ると、「設置している」は<女性/20歳代>(64.9%)で6割台半ばとなっている。(図IV-6-4)

居住地区別で見ると、「設置している」は<陽南>(66.0%), <本庁>(60.7%)で6割を超えている。(図IV-6-4)

<図IV-6-4>性・年齢別／居住地区別



(2-1) 設置していない理由

◇「義務化の内容などがわからない」が3割台半ば

(問17で、「2 設置していない」に○をつけた方に)

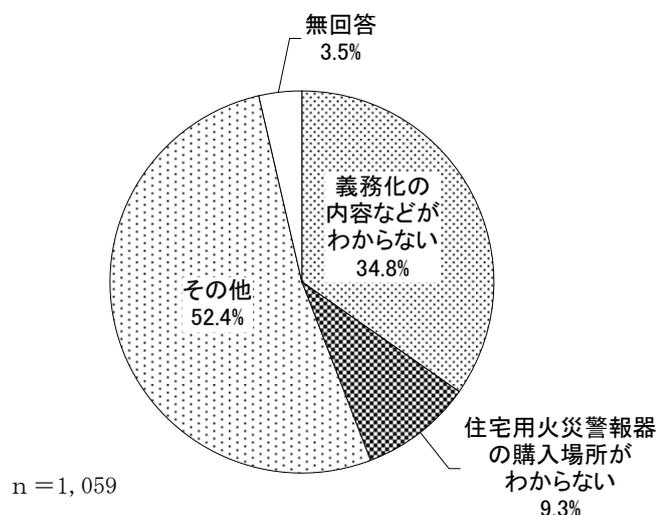
問17-1 設置していない理由は何ですか。(○は1つ)

	n = 1,059
1 義務化の内容などがわからない	34.8%
2 住宅用火災警報器の購入場所がわからない	9.3
3 その他	52.4
(無回答)	3.5

問17で、自宅に住宅用火災警報器を「設置していない」と答えた人(1,059人)に、その理由を聞いたところ、「義務化の内容などがわからない」(34.8%)が3割台半ば、「住宅用火災警報器の購入場所がわからない」(9.3%)が1割近くとなっている。(図IV-6-5)

また、「その他」(52.4%)の具体的な記述をみると、「経済的な理由」(79人・7.5%)、「義務化の期限までに設置する予定だから」(78人・7.4%)、「借家のため」(54人・5.1%)、「購入(注文)してあるが、まだ設置していない(設置が難しい)から」(44人・4.2%)などが多くなっている。

<図IV-6-5>全体



性・年齢別で見ると、「義務化の内容などがわからない」は<男性/50歳代>(47.2%)、<男性/70歳以上>(43.1%)、<男性/40歳代>(43.0%)で4割を超え、「住宅用火災警報器の購入場所がわからない」は<女性/70歳以上>(23.0%)で2割を超えている。(図IV-6-6)

居住地区別で見ると、「義務化の内容などがわからない」は<清原>(48.3%)で5割近くになっている。(図IV-6-6)

<図IV-6-6>性・年齢別／居住地区別

